

別記様式（第5関係）

会 議 録

会議の名称	西東京市廃棄物減量等推進審議会（第1回：平成18年度）
開催日時	平成18年4月28日（金）午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	保谷庁舎 防災センター 6階 講座室
出席者	（出席委員）大江会長、坪井福会長、岡野委員、篠原委員、北村委員、奥田委員、佐々木委員、宮川委員、五十島委員、山崎委員、石井委員、堀越委員、栗原委員 （欠席）岡田委員 （事務局等）斉藤環境防災部長、櫻井ごみ減量推進課長、篠宮ごみ減量推進課主幹、河合ごみ減量係長、三村統括技能長、平岡主事、加藤主事
議 題	西東京市の家庭ごみの資源化促進と適正な費用負担について
会議資料	次第、西東京市の現状と課題の整理及び家庭ごみの資源化促進と適正な費用負担について（前回資料）、平成17年度第3回会議録、新聞切抜（委員持込）
会議内容	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会長	平成18年度第1回の廃棄物減量等推進審議会を始めます。 今回は審議会の通算4回目となりますが、平成18年度の第1回となります。それでは、審議の前に事務局会からお知らせをお願いします。
事務局	4月1日付けで人事異動がありましたのでご紹介します。 斉藤環境防災部長 挨拶 櫻井ごみ減量推進課長 挨拶 河合ごみ減量係長 挨拶
会長	本日の議題に入りたいと思います。 前回、説明の途中で終わってしまいましたので続きからお願いします。
事務局	前回に引き続き報告いたします。 資料の報告として、現在検討段階である西東京市の考え方を途中まで報告させていただきました。本日は前回の続きを手短にご説明させていただきます。前回は、西東京市の課題、また家庭ごみの有料化を実施する際に市民へ理解を求める基本的な考え方をお話しました。

本日は家庭ごみの有料化を実施するにあたり、留意すべき事項をご説明いたします。

まず、一つ目として排出者責任を明確にするため、戸別収集の検討が必要ではないかということであり、有料化を実施した市はほとんどが戸別収集を採用しております。

二つ目として、実施に伴い、お金を出すのだからどんな出し方でも良いだろうという考え方になってしまうことは本末転倒でありますので、きちんとした周知が必要ということです。

三つ目としてごみ問題として環境負荷や経費がかかるということを理解してもらおうということです。

四つ目は家庭ごみの有料化による効果でごみの量が減少する傾向であるけれども、だんだん慣れてきてしまうので意識向上を図る必要があるということです。

五つ目としましては、有料化を行ったことによる効果と結果報告を広報等により行うことが必要とされています。

六つ目として、ごみを出す市民にだけ負担がかかるのではなく、製造・販売業の方へも理解していただいて、ごみになりにくいもの、リサイクルしやすいものを作っていただくことにより資源循環型社会の形成に役立つのではないかとあります。

次に家庭ごみの有料化をする際の方法等を提案いたします。

まず、有料化の対象物についてですが、有料化実施しているほとんどの団体が可燃ごみ・不燃ごみとしています。一方、ビン・缶・ペットボトル等の資源物に関しましては無料としているようです。ただ、プラスチック等について有料化していくべきでは、という動きもあるため、検討する必要があります。

そして2番目に西東京市では自己処理としている事業系廃棄物がございます。これについては現在、事業者の方と一般廃棄物許可業者の方での契約によって処理しております。市内では1,000ちょっとの事業者の方々が契約している状況です。また有料化を行っている他市では事業系の有料袋で回収しているところが多くあります。

次に減免措置ですが有料化実施が社会的に援護が必要な方にとって過度の負担にならないように他市においても減免措置を実施しております。生活保護世帯等になりますが、各市ともにそれぞれで決定しております。

収集方法ですが、現在はステーション方式を行っていますが、排出者の責任を持っていただくということから、可燃ごみ及び不燃ごみに関してはコストがかかりますが、収集体制の効率化により、戸別収集を行うということを考えております。

次に手数料の徴収ですが、ほとんどの市が指定袋を購入することにより手数料を支払っていただく方法となっています。

5番目の排出者責任の明確化については、度々出ておりますので省略させていただきます。

6番目の手数料収入の運用方法ですが、有料化により経費はかかりますが、市民の皆さんの理解を得ることは難しく、ごみ処理経費を除いた部分を基金に積立たり、どのように使われているのかを明確にする必要があると考えております。

7番目は市民への普及啓発であります。有料化については新たな負担に

	<p>なるのですが、ごみ処理の費用として使われて、ごみを多く出す人とごみの分別・減量をきちんと行っている人の不公平を是正することを理解していただかないと市民合意は難しいと思われます。そのため、有料化に当たっては事前説明を十分に行う必要があると考えております。</p> <p>武蔵野市では戸別収集と合わせて、段階的に全市に説明を行い有料化を進めてきたためほとんど混乱は無かったと聞いています。</p>
会長	<p>前年度行った審議会、3回はごみの現状・課題を中心に話してきて、有料化については話し合っていないが、説明してもらったことにより有料化までのお話が全部入っていましたので、少し分けて理解を深めて行きたいと思ひます。</p> <p>それでは有料化の必要性についていろいろなご意見もあるかと思ひますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>もう有料化している市でも、賛成・反対いろいろあるでしょうが、反対や有料化へ踏み切っては困るという声は多かったかを参考としてお聞きしたいと思ひのですが。</p>
会長	<p>有料化するにあたってのメリット、デメリットがあり、プラス面・マイナス面があると思ひますが実施前に予想されていたものと比べるとどのようなことになっていたかということですね。</p>
副会長	<p>経済的に困らない人で、お金を出すから持っていてもらって当たり前という考え方もありますが、これでは効果が無いですね。やっぱり環境問題のことも含めて話に入れていかないと。有料化の話をするとおおむね仕方が無いという話が出ますね。</p> <p>書類を整理していたら、ごみの料金徴収の紙が出てきました。昭和41年の徴収票ですが、確かにお金を払いに行った記憶があります。</p>
委員	<p>他の質問になりますが、有料化を実施している市の話は良く聞きますが、していない市もありますよね。お隣の東久留米市もしていないのですが、西東京市では有料化をしないで、より一層のごみの減量をすることができるのかということと、有料化を行っていない市のことをもう少しお聞きしたいのですが。やろうと思ってもできないところもあると思ひますし。</p>
事務局	<p>実施していないところは、立川市、三鷹市、府中市、小平市、国立市、東大和市、武蔵村山市、多摩市で国分寺市は審議会を設置中、東久留米市は今年度中の実施をしたいということをお聞きしています。</p>
委員	<p>三鷹市では、有料化を見越して戸別収集を行っているようですが。</p>
会長	<p>三鷹市は先行して戸別収集を開始してしまひて、市民会議の中で三鷹市らしい有料化を考えようという話が出まひて、どのように有料化の原資を使ひていったら良いかということになりまひて、ひとつの政策、有料化の原資を市民のごみの減量の原資にも振り分けるようなファンドのようなものにしひていこうということになりました。ただ、留保条件がつきまひて、まだ実施</p>

	<p>されていないのは、昨年2月から分別の新しい方式を始めまして、その効果を見てからということになっていまして、それでもごみの減量ができない場合に有料化を実施しなければならないという条件になっています。</p> <p>2月より始めたその他プラスチックの収集により、大きな効果が見られたので、まだ有料化をする段階ではないということをして市長が判断していただき、実施されていないということになっています。</p> <p>各市、いろいろな状況があるので西東京市にふさわしい、理由と留意事項は検討しておく必要があると思います。</p>
委員	<p>他の件で質問したいのですが、先日の新聞で西東京市が「その他プラスチック」の収集を断念したという記事が載ってまして、内容について事務局の方から直接、お聞きしたいと思うのですが。</p>
部長	<p>その件につきまして、容器リサイクル法に基づくその他プラスチック収集ですが、平成17年度に実施したいということで進め、事業者を決めようと清瀬市・東久留米市・西東京市の3市、共同歩調で実施したいと考えていましたが、なかなか決まらず、それでは平成18年度から実施したいということで、お話し合いをしていたところです。今年の10月から実施したいということをして1月まで事務的には進めてきたのですが、その他プラスチックの収集には年間2億円という経費がかかり、平成18年10月実施でも1億円が必要となります。そのため財政的にどうしても厳しいということになりまして、予算が組めないということになり断念をいたしました。そして平成19年度実施で半年以上、延伸したいということを決断したという経緯になります。</p>
会長	<p>先ほど質問のありました有料化のメリット・デメリットの整理については、事務局の方で一般的なことについて出していただきたいと思います。また、ごみの回収が有料だったところからの田無・保谷の歴史についても調べていただくと大変勉強になるのでお願いします。</p> <p>その上で大事な所は、有料化を実施していない自治体についてです。三鷹市は先ほどお話したとおり、有料化への方針は出されています。他の市がどうだったかということも調べてもらいたいのと、違う視点で有料化を実施した市が、実施する前に議論したことが、実施した後ではどう違うのかということをお聞きしたいと思っております。</p>
委員	<p>市にはお金が無いということは、まず、はじめに言わなくてはいけないのではないのでしょうか。どうしてお金が無いんだというところの説明をすれば理解してもらえるとと思うのです。二つ目として集めたお金がどういう使われ方をしているのかわからないから払いたくないということもあるので、どのように使われるのか納得すればそういったこともないと思います。</p>
委員	<p>それは大事なことだと思います。未実施の立川市、府中市、小平市は人口が多くて比較的、市の財政が裕福なために市としても有料化が緊急ではないのかも知れません。ですから西東京市では財政が厳しいということをはっきりということも必要だと思います。</p>

副会長	それにごみの量が昔に比べて尋常ではなくなっていますよね。
委員	<p>小平市はごみの減量がある程度実現しています。有料化するかどうかは戸別収集でどの程度減量が進むのかを見て考えるということなのだろうと思います。</p> <p>処理量と埋立地の問題から言っても配分量が決められますが、これを大幅に超えているところが早急に減量しなくてはならないと思いますし、この埋め立てるところがなくなる、ということが一番宣伝されているからある程度、多摩地区の住民には頭に入っていて、有料化は仕方がないというところがあると思いますが、重要なところは環境への負荷になりますので、ここから入っていく必要があることと埋立地の問題、もうひとつは財政の問題の3つのポイントで考えていくことが必要だと感じます。</p>
委員	<p>先日の柳泉園の視察の際に不燃物の仕分けをするところで、手選別をしていたのを見ましたが、プラスチックを30%減量するとなると、ますます手間とお金がかかってしまうのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>住民の選別がきちんとできればそれほどかからないと思いますが、それが一番手間のかかって大変なことです。けれども何年もかけてやっていくことが大事ですね。</p>
委員	<p>有料化をすることはやむを得ないという考えでいるのですが、三鷹市は有料化を見据えた戸別収集で街がきれいになってということと、小平市はごみの減量化に成功していると聞くと西東京市としては努力しないで良いのかと思います。ステップを踏んでみんながやむを得ないと納得できなければいけないと思うので審議会で審議しないまま、有料化へもっていくのは危険ではないかと感じます。そのため、他の市で有料化していないところを調べて、やはり有料化へ向かっているんだ、有料化は仕方がないんだというステップを踏んできちんとしたところで広報していかないといけないと思います。</p>
委員	<p>ごみの戸別収集を行うと3～4割の費用負担が増えることになります。有料袋のお金をそこに投入するというわけではないですが、財政バランスを考えるべきだと思うし、その他プラスチックの収集を開始するにも大きな経費がかかります。財政が緊迫した状況で負担増になっていくということは大変なことですし、そのあたりを考慮していく必要があると思います。</p> <p>もうひとつお聞きしたいのは日の出の埋立量の配分量についてですが、市によって変動したりしていなかったりしているのがありますが、これは申し込み量でしょうか。</p>
事務局	<p>確定値は持ち込んだ実績です。配分量は組合で各市に配分している量になります。</p>
委員	<p>大幅に減っている市もあるので、どのように減らしたかを参考にしていけばいいのではないのでしょうか。</p>

部長	<p>配分量は約束量、持込量は西東京市が直接持ち込んだものではなく、柳泉園経由で運ばれた量になります。配分量を多くした分、課徴金として西東京市に億単位で請求されることになって、これが少なくなるとお金が戻ってくるということになります。ですから貢献度が高ければお金が安く済むということで減量化したいということになります。また、以前の課徴金の支払いが今後発生してきますので、もっと大変になってくる状況です。</p>
会長	<p>有料化していない市と大きく減量したところの調査を事務局のほうでお願いしたいと思います。</p> <p>財政的な負担は各市とも抱えていて、有料化と同時に戸別収集を行うことで負担が増えますが、その他のところで効果があるというところでつなげていくということが必要ですね。</p>
委員	<p>西東京市の問題をもう少し突き詰めて考えなくてはならないと思います。</p> <p>有料化を西東京市でいずれ行うということはわかっているのですが、今の状態で市民の方々にわかってもらえるのかということと、他にまだやることがあるのではないかと思うのです。いただいた新聞の切り抜きで、横浜市では分別を細分化して減量に成功したということですよ。今の西東京市での分別ももう少し細分化できるのかということになりますが、その他プラスチックの収集について細分化することにより経費がかかるために延伸した経緯もありますのでどのようにしていったらよいかということになります。西東京市の市民は不法投棄を除いて、分別がだいぶできていると思うのですが、市民の側にもうひとつ何か分別の分け方を変えなければならないということではないかと思います。有料化を行わなければならない時期は必ず来ると思いますし、反対はできないと思っています。</p>
副会長	<p>もう一度原点に戻ることになると思いますが、意識のある人はいるのだから例えば市に集積所で行政としてこんなにごみを出されたら困るということをお話ということをしてもらいたいです。</p>
委員	<p>知り合いでごみのことで困ったことがあったら、ごみ減量推進課へ連絡すればすぐに取りにきてくれると思っている人がいるので、安直に回収しなくてももらった方がいいと思いますね。この場の皆さんは意識がありますけれど、一般の方は本当に無関心な人が多いと思います。</p>
委員	<p>私は自治会等の集団回収を行っていたので、ごみの説明会を何回も行っているのですが、説明会を行った団体は次から少しずつでも出し方が変わってきます。ごみに関していろんな質問があって答えるとそのことが浸透していきます。だから集団回収の良さとしてごみの資源化だけでなく、その地域でごみの減量を考えている人たちが多くあるのも町丁目ごとであればと思うのと、三鷹市では住民協議会として全市を7つのブロックに分けてあるんですが、ブロックごとに市が提案したものが全部協議されるので有料化しなくてもごみの減量がある程度実現するんです。</p> <p>地域の問題についてもですが、縦割りでなく、そういった輪を広げていければ、ごみの問題も解決まではいかなくとも減量できると考えています。</p>

	<p>おそらく今後、有料化やその他プラスチックの実施のときにはごみ減量推進課の方々は説明会等を行うと思いますが、武蔵野市では1年以上かけて、3万から4万世帯を歩いて行ったのです。そういったことが浸透していくことは十分に考えられますし、その後、武蔵野市では市民の方々が瀬戸物とか割り箸とかのリサイクルを市民の手で始めています。</p>
委員	<p>ごみの話を周りの人としても減らすことは重要ということはわかって、なかなか実行に移せないというところがあります。減量の話だけでは浸透していかないと思うし、わずかでもお金が絡んでくれば真剣に聞き、分別の動議付けになるのではないかと思います。</p>
委員	<p>武蔵野市は40?の袋が80円でちょっと高めですが、ごみを出しているところを見ると20?のものがほとんどなんですね。だから効果があるんです。</p>
副会長	<p>そうですね、袋の値段が安いところは慣れてしまうのであまり良くないんです。最初は小さい袋に入れるのですが、だんだん大きい袋で出してしまうというのを聞いています。</p>
委員	<p>武蔵野市では20?袋が比較的でているのですね。</p>
委員	<p>ワンルームなどでめちゃくちゃな所は放置されている場合がありますが、戸建住宅はきちんとしていて小さい袋にきっちり入っています。</p>
会長	<p>武蔵野市は単身世帯率が40%くらいで、若い世代が多いんです。年で流出、流入が10%くらいありますから啓発がすごく大事なところではあります。</p>
委員	<p>住宅地でその中にアパートがあるという場合は、周りの人たちが注意したりしているようです。</p>
委員	<p>ごみの量は時代や生活スタイルによって変化していて、今はプラスチックごみが多いので、可燃ごみが週2回ですがそれを1回にして、プラスチックごみを2回にするということはいかがでしょうか。</p>
副会長	<p>不燃ごみは少なく、プラスチックごみが多いので不燃ごみは毎週無くてもいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>自宅で調べてみたのですが、プラスチックごみはすぐにレジ袋がいっぱいになってしまいますね。ですから有料化するとき、その他プラスチックの収集がされない場合、有料袋でも容積が大きくなるため、袋も大きくなることによって費用が余計にかかることになってしまいますね。ですから、その他プラスチックの収集は早く実施していただきたいのです。</p>
会長	<p>小金井市が今年の春から、不燃の三分別を始めています。</p>

	<p>不燃の分類を鉄類、プラスチック、その他に分けて持ち込み量を減らそうということです。小金井市は焼却場の問題を抱えていますからお金をかけても実施しているということだと思います。不燃のプラスチック分別はやれないということはないですね。</p>
委員	<p>そういう段階を踏んで有料へ近づいていけば市民の理解を得やすいのではないかと思います。ここで何かひとつ、できればと思うのですがいかがでしょうか。</p>
会長	<p>大事な視点が出てきましたが、有料化ありきの前にできることがあるのではないかと、有料化実施の前もしくは同時になるかも知れないけれども、もう一段階、質の高い市民努力の収集ということ、もうひとつはごみだけでなく街づくりの視点がないごみ問題は重要なところが抜け落ちていて、トータルな街づくりの視点が入ってきて初めてうまくいくと思います。</p>
委員	<p>街づくりという大きなところに向かっていくということが大切だと思います。先日、出席した自治会（町内会）の提案の中に4点セットは一緒に動いていかなければということだったのですが、この4点セットの最終的なイメージのごみは集積所や戸別収集といった発想ではなく、地域である程度の処理ができる、空いている駐車場とかで200世帯くらいのごみが小さくできる、ということまでいきそうな話になったんです。街づくりの発想がないと一過性の問題になってしまうのではないかとということを伝えたかったのです。</p>
会長	<p>街づくりとの視点をもっと入れていく議論もあっていいのかなと思います。今日は有料化の必要性というところに焦点を当てていったのですが、事務局からは留意すべき事項から全部出されていますので、次回以降に向けまして、財政の問題、環境負荷の視点など重要な視点も出されていますので、次回までに整理していただくことと、資料のお願いがありました、実施・未実施の市の問題、実施市におけるその後、一般論としてのメリット・デメリットについての整理的なものを次回以降に出していただきたいと思います。</p> <p>また、今日はちょっと大きな問題がでまして、有料化へ行く前にやれることはあるのかなのかということになりましたが、私の感じとしてはやれないことはないけれども、高いレベルでやっていることは間違いないと思いますし、西東京市でもがんばっていることは事実ですので、見直そうとしている収集体制、あるいは分別収集の方向を加えながら、可能性としてはこういうものがあるといったあるいは、このあたりは難しいといったところを出していただければひとつのたたき台とすることができると思います。</p> <p>これは市民努力と行政がかみ合わないといけませんから、可能性の検討をお願いします。こういったものを基に次回の議論を深めていきたいのですが、何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>平成17年度の廃棄物のデータを見たいのですが。</p>
事務局	<p>正式な数値がでましたらお知らせします。</p>

会長	有料化の際には事業系ごみのことも出てきますので、事業系ごみの統計や事業系ごみの契約数、事業系ごみの収集を行っている他市の内容を調べていただきたいです。
事務局	調査して資料をお出しします。
委員	以前、市報に出たごみ処理費のことをもっとPRしてもらいたいのですが。市民の方は莫大な処理費がかかることを知らないんです。だから何回もPRして認識してもらいたいです。そうすればごみの減量につながると思います。
副会長	それには市が実際に現場に出て、ごみ減量推進員の方も協力しなくてはならないですが、話し合いを行う必要があると思います。
会長	それでは次回の審議会開催日程ですがどのようになっていますか。
事務局	次回は5月25日の木曜日になります。
会長	それでは本日は以上で閉会とします。